

京都府家族支援実践研修実施要領

1 目的

精神障害者の家族を支援するための支援方法を学ぶことによって、京都府内の家族相談員の育成、家族相談員、保健、医療、福祉関係者等に家族支援の技法を身につけてもらい、ケアラーアセスメント票やガイドラインを活用した支援を実施することにより、府内における家族相談の質を高めることを目的とする。

2 対象者

家族相談員として活動を希望する者、家族相談員、家族会、京都府内保健所（センター）、医療機関、福祉関係者等の職員

3 定員

180名（※対面で参加する場合）

4 内容

(1) 日時

令和5年9月14日（木）10時～16時

令和5年9月15日（金）10時～16時10分

(2) 場所

(ア) 対面で参加する場合

全国和牛登録会館大ホール（京都市中京区烏丸通御池上る二条殿町 546-2）

(イ) オンライン（Zoom）で参加する場合

ZoomのURL、ID、パスワードは申し込みフォームに記載いただいたメールアドレスに送付します。

(3) プログラム内容

別紙プログラム参照

5 申し込み方法

下記URLやQRコードより、必要事項を記載のうえ、9月6日（水）までにお申し込みください。

<https://forms.office.com/r/HW5Ev6HXB4>



6 主催

京都府

公益社団法人 京都精神保健福祉推進家族会連合会（略称/（公社）京家連）

7 修了証について

今回は以下の要件を満たす方にそれぞれ修了証を発行します（希望者のみ）。

(1) 修了証（全課程受講）

9月14日及び15日の全ての過程を修了した者。

(2) 修了証（講義部分のみ受講）

9月14日及び15日の午前までの課程を修了した者。

8 留意事項

(1) 対面とZoomでのハイブリッド形式での開催となりますが、9月15日（金）午後のプログラムは会場での受講のみとなります。

(2) 希望されるプログラムのみでの参加が可能です。

京都府家族支援実践研修プログラム

○ 第一日目 テーマ：家族の声を聴く 令和5年9月14日（木）

プログラム内容	時間	時間数（分）	講師	形式	受講形式
開会あいさつ	10:00～10:10	10	京都府健康福祉部 障害者支援課 京都精神保健福祉推進家族会連合会		ハイブリッド
1 何をするのが家族の支援になるのか	10:10～11:10	60	講師 佐藤 純（京都ノートルダム女子大学 教授）	講義	
2 家族の支援をすすめるために	11:10～12:20	70	講師 塚崎 直樹（京都精神保健福祉推進家族会連合会会長） 東 秀子（京都精神保健福祉推進家族会連合会副会長）	講義	
昼休憩	12:20～13:20	60			
3 社会的ひきこもりの本人をケアする家族の集い（みつばちの会）の実践から（その2）	13:20～14:40	80	講師 松田 美枝（京都文教大学 准教授） 鈴木 美帆（家族スタッフ）	講義	
休憩	14:40～14:50	10	休憩		
4 精神疾患の親をもつ子ども達の理解と支え	14:50～15:50	60	講師 田野中 恭子（佛教大学 准教授）	講義	
事務連絡	15:50～16:00	10			

270

○ 第二日目 テーマ：家族を支援する 令和5年9月15日（金）

プログラム内容	時間	時間数（分）	講師	形式	受講形式
5 メリデン版訪問家族支援の実際	10:00～11:00	60	講師 松元 雄太（まるいクリニック） ご家族の声	講義	ハイブリッド
6 ケアラーアセスメント票の活用について	11:00～12:00	60	講師 高田 亮（精神保健福祉総合センター 副主査）	講義	
昼休憩	12:00～13:00	60			
7 ロールプレイ「家族面接」	13:00～14:30	90	講師 佐藤 純（京都ノートルダム女子大学 教授）	演習	会場
8 グループワーク「家族の支援をすすめるために」	14:30～16:00	90	講師 佐藤 純（京都ノートルダム女子大学 教授）	演習	
事務連絡	16:00～16:10	10			

300